

た社会福祉法人白根市中央福祉会が運営する、知的障害者通所授産施設「ワークセンターしらほす」を継続して支援してまいります。このほか、福祉のまちづくり推進計画に基づいて、公共施設や一般建築物等についても、障害者に優しい施設となるよう指導を行ってまいります。

●児童福祉

保育時間延長拡大や乳児保育などの特別保育事業を拠点方式で取り組み、子育ての相談体制充実のため、子育て支援センターつくし園事業の拡大を行います。また、開かれた保育所と円滑な事業運営を目指して、苦情解決を審議する第三者機関を設置します。

保護者の子育て支援と少子化対策のため、保育料の見直し軽減を継続して実施します。また、放課後児童健全育成事業の学童保育についても、学校週五日制に対応できるよう団体助成を継続してまいります。

●高齢者福祉

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が、住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう関係機関と連携し、「基幹型在宅介護支援センター」を中心に、総合相談業務を推進します。また、「白根デイホーム」の運営、緊急通報装置貸与事業、機能訓練事業、転倒予防事業の各種事業など、介護状態にならないための生活支援・介護予防事業を積極的に推進してまいります。

●母子保健事業

少子化対策の一環として乳幼児医療費の助成拡大を継続実施し、保健と福

祉が一体となった各種検診の充実や健康相談、夫婦で行う子育て教室や育児教室などを実施するほか、家庭児童相談員や主任児童民生委員、児童相談所等との連携を図り、次代を担う子どもたちの、健やかな子育て支援事業を推進してまいります。

2 主な事業と予算

- 在宅介護支援センター運営管理委託料 3,716万円
- 在宅高齢者生活支援事業委託料 800万円
- 居宅介護給付費等 4億4,768万円
- 施設介護給付費等 1億3,490万円
- 児童扶養手当 2,349万円
- 特別保育等への対応 1,736万円
- 乳幼児医療費助成事業 4,864万円

3 個性と創造性をはぐくむ生涯学習のまちづくり

●社会教育事業

急速に進む情報化や国際化により、市民の学習ニーズは多様化・高度化しています。大学等の高等教育機関と連携した学習事業の充実を図るとともに、市民による手作りの教養講座などの市民活動を積極的に支援してまいります。また、行政出前講座や有志指導者派遣制度の活用を促進し、さらに市民ニ

ズに沿った学習情報と学習機会の提供に努めていく中で、生涯学習基本構想の見直しを進めてまいります。

白根学習館については、複合施設としての特性を生かした事業展開とスムーズで快適な施設運営に努め、図書館についても、市民の心のオアシスとしてより一層活用されるよう、各種サービスの充実に向けてまいります。

市民が高度な芸術文化を鑑賞する機会として、財団法人新潟県文化振興財団との共催事業で、十二月十日にプラハ少年少女合唱団クリスマスコンサートを開催します。

男女共同参画社会の実現に向けた計画作りを進める中で、関係機関と連携を図った意識啓発事業を展開し、市民活動を支援してまいります。

●学校教育の充実

学校は毎週土曜日を休みとする完全学校週五日制が実施されることから、各教科の学習内容が一部削減され、総合的な学習の時間が新設されるなど、新学習指導要領に基づく指導が全面的に展開されることとなります。その中で、次代を担うにふさわしい子どもたちの育成を目指し、基礎・基本をしっかり身に付けた、心身とも健やかな子どもたちを育てるための教育に取り組んでまいります。

白南中学校の平成十五年四月の開校を目指し、校舎棟・体育館棟の建設や外構整備に努めてまいります。

奨学金貸付制度については、就学困難な学生に対して学資の貸付を行い、次代を担う学生たちの勉学の支援を行

つてまいります。パソコン導入事業については、小学校にコンピュータを百八台増設し、情報教育の一層の推進を図ります。

●スポーツ活動の充実

「しらほすスポーツプラン21」を柱に、市民一人ひとりが継続的にスポーツ活動を実践できるよう、各種スポーツ教室やイベントを開催します。「健康づくり100日運動」の輪を広げながら、市民の生涯各期におけるスポーツ活動を積極的に支援してまいります。

平成二十一年開催予定の二巡目団体で、レスリング競技の会場開催地として決定したことから、レスリング競技の立ち上げを行います。また、各種目においてジュニア育成を中心に、計画的な選手育成を図ってまいります。

3 主な事業と予算

- 情報通信技術講習事業 527万円
- 奨学金貸付事業 541万円
- チャレンジ21推進事業 435万円
- 白南中学校建設事業 8億8,313万円
- 多目的広場夜間照明設置事業 570万円

4 自然と調和したうるおいあるまちづくり

●環境整備

市民・事業者等の意見を反映しながら策定した「白根市環境基本計画」に

6 担い合い交流するまちづくり

●国際交流

白根国際交流協会との協力で実施している青少年の海外ホームステイ派遣事業や、アセアン農業青年の受け入れをはじめとした各種国際交流事業においても、一層の充実に向けてまいります。

6 主な事業と予算

- 地域イベント住民交流事業補助金 150万円
- 海外ホームステイ派遣事業等補助金 60万円

7 市町村合併問題への取り組み

政令指定都市を目指した合併に対する検討を行うための体制整備を図ります。市民に対して積極的な情報提供を図り、合併に対する市民意識調査を実施する中、その議論を深めながら、白根地域のまちづくりについて検討を行ってまいります。合併問題については、白根地域広域事務組合構成町村とも一体となって検討していくほか、議会とも十分歩調を合わせる中で議論を重ねてまいります。

7 主な事業と予算

- 市民意識調査委託料 400万円

5 活力あふれる産業のまちづくり

- 4 主な事業と予算
- 地域環境整備推進事業補助金 342万円
- 消防施設整備事業 1億1,269万円
- 交通安全施設設置工事 750万円
- 公園管理委託料 1,855万円

ついで、その内容等を市民に周知するとともに、環境保全施策の推進に努めてまいります。

ごみの減量化やリサイクルの推進のため、引き続き生ごみ処理機等の購入助成や分別収集の徹底を図ります。

ダイオキシン類の発生を抑えるため、広域事務組合で取り組んでいるグリーントワーの改修工事について、引き続き支援してまいります。

●交通安全対策

人命尊重を基本に交通安全施設の整備に取り組みいくとともに、関係機関、団体とさらなる連携強化を図り、市民一人ひとりが自らの事故防止に努めるよう、安全思想の普及と啓発活動を行うしていきます。また、チャイルドシート購入に対する補助制度についても、引き続き支援してまいります。

を含めた農作物の販売促進について、積極的な対策を講じてまいります。また、変化に即応できる農業経営の育成による所得の確保、活力と魅力ある農業・農村の構築を目標として、各種施策を講じてまいります。

前年度の農家アンケート調査結果を踏まえ、将来的に予想される耕作放棄地の発生を防ぐため、仮称白根農業振興公社の設立に向けて調査を行います。

稲作については、生産の低コスト技術の向上と、地域間競争に打ち勝つ高品質で良食味のある安定した一般米や減農薬・減化学肥料による特別栽培米「売れるしろね米」のブランドづくりを展開してまいります。特に、特別栽培米の生産の拡大を推進し、東京都と締結している産地流通協定に基づく販売量の確保と、学校給食への本市産コシヒカリの供給も継続してまいります。

米の生産調整は、三割を超える生産調整が実施されても依然として供給過剰にあり、地域農業の発展を図る上で生産調整目標面積の達成が必要です。このため、水田を中心とした土地利用型農業活性化対策大綱に基づき、需要に応じた米の計画的生産の徹底と、高品質で売れる大豆の生産、園芸作物の生産の拡大支援による複合営農を関係機関一体となって推進します。また、生産調整面積達成者へのメリット対策として園芸作物への誘導と経営の安定、農家負担の軽減を図るため、集落合意の下で、農業者が投資する十万元以上の新品園芸用機械などの導入に対し、上限十万円の助成を行ってまいります。

●農業の復興

昨年度策定した第七次農業振興計画を指針として、生産・経営対策・流通

5 主な事業と予算

- 農林水産業総合振興事業 3,027万円
- 学校給食白根米供給事業 306万円
- フォトライブラリーシステム作成委託料 836万円
- 風合戦事業 1,190万円